

事例紹介

静岡県三島市立 坂小学校

学習習慣の定着にむけて

～目指せ、学びの達人！～



学力向上を目指して全小中学校にeライブラリを導入している三島市では、家庭学習や補充学習にドリルやプリントを役立てています。今回は、坂小学校の家庭学習の運用の様子や教育委員会の活用促進の工夫についてご紹介します。

家庭

運用の鍵は、保護者との連携！

保護者も関わる「家庭学習ノート」や保護者向け「家庭学習のすすめ」の配布など、坂小学校は保護者との連携を重視して家庭学習を推進しています。

説明会や体験会で、保護者に周知

毎日「学年×10分+10分」の家庭学習を推奨する坂小学校では、家庭学習の選択肢の1つとして、家庭学習サービスを全児童に案内しています。

「保護者が関心をもたなければ、家庭学習は定着しません」と原校長先生。学校だよりで紹介したり、保護者向け説明会や授業参観内での体験など、保護者が教材に触れる機会を多く設けるよう工夫しています。



▲学校ホームページに、家庭学習サイトのリンクが張られています

使い方や情報リテラシーを、授業で指導

児童がすぐに家庭学習を始められるよう、どの学年も必ず授業の中で使い方を指導しています。

そこではドリルの操作方法だけでなく、学校のホームページから家庭学習サイトを開く手順や、パスワード管理の大切さも伝えており、そうした工夫がスムーズな家庭学習運用に繋がっています。

校長 原 芳之 先生のお話



家庭での学習習慣の定着には、保護者の関与が大きな鍵になります。eライブラリの家庭学習サービスも、親子で学習に関わるきっかけの1つになってほしいと考えています。

本校では、「学びの達人」を目指して自主学習を推奨しています。そこには、自ら学ぶことで、誰にでも成長のチャンスが与えられていることを知ってほしいという思いと、自ら目標を決めて学習に取り組み、学習の成果を実感することで、自己肯定感を高めたいというねらいがあります。

放課後

自主学習の機会を増やす、PC教室開放

家庭にパソコンのない児童も自主学習に取り組めるよう、放課後にはコンピュータ教室を開放しています。

大学生サポーターと学ぼう

木・金曜日の放課後や雨の日の昼休みにはコンピュータ教室を開放して、児童が自由にeライブラリで学習できる環境を整えています。

学び方支援サポーターの大学生が立ち合う日もあり、授業とは異なる学習の場をいつも楽しみにしている児童もいるそうです。



▲様々な年代の人との関わり方を学ぶ機会にしたいというねらいもあります

教務主任 川口 裕美 先生のお話



自主学習では、児童が自分で分かったときの達成感を大切にしています。eライブラリは解説教材が揃っているため、「**分からない⇒解説で調べる⇒ドリルを解いてみる⇒わかった!**」と実感を持った学習に役立つと感じています。

また、教科書とは違う問題に取り組むことで、学習内容の理解を深めるねらいもあります。算数や社会では単元のまとめの演習にドリルを取り入れたり、宿題にプリントを使ったりしています。

教育委員会

市でICT環境を整える

こうした学力向上のためのICT環境を整備し、市内の活用促進を行ってきた教育委員会の江本祐輔主査にお話を伺いました。

三島市教育委員会 教育政策室

江本 祐輔 主査のお話

■ プリント印刷から始まるICT活用

様々な立場やスキルの先生が学力向上に役立てられそうだと思います。eライブラリを導入しましたが、特に中学校プリントパックが魅力でした。ICTが苦手な先生でも、**プリント印刷なら手軽に指導に取り入れることができる**ため、先生方のICT活用の底上げになります。

今後は電子黒板でのeライブラリ活用を進め、児童が前を向く授業スタイルを支えたいと考えています。

■ 校務システムで活用情報を発信

全国の事例や市内の学校での活用情報を、校務システムでこまめに発信するようにしています。山田小学校の研修会の様子や、山田中学校の夏休みの補充学習での活用の様子などは反響も多く、eライブラリに関心をもってくれる先生が増えるきっかけになりました。



▲山田中学校ブログより